

## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月7日

上場会社名 株式会社 島津製作所 上場取引所 東  
 コード番号 7701 URL <https://www.shimadzu.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 山本 靖則  
 問合せ先責任者 (役職名) 理財部長 (氏名) 荒金 功明 TEL 075-823-1128  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月8日 配当支払開始予定日 2022年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	221,893	9.8	28,912	0.3	33,140	12.9	24,500	19.6
2022年3月期第2四半期	202,067	13.0	28,836	46.8	29,366	50.9	20,485	47.2

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 34,539百万円 (54.1%) 2022年3月期第2四半期 22,419百万円 (36.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	83.15	—
2022年3月期第2四半期	69.53	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	596,234	410,066	68.3
2022年3月期	560,528	381,164	68.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 407,484百万円 2022年3月期 381,164百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	20.00	—	28.00	48.00
2023年3月期	—	22.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	28.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	470,000	9.8	68,000	6.6	68,000	3.7	49,000	3.6	166.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※上記予想に関連する事項については、【添付資料】4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

(注) 詳細は、【添付資料】11ページ「連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】11ページ「連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	296,070,227株	2022年3月期	296,070,227株
2023年3月期2Q	1,398,821株	2022年3月期	1,416,992株
2023年3月期2Q	294,662,375株	2022年3月期2Q	294,649,498株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 2022年5月10日に公表しました通期の連結業績予想は、本資料において修正しています。

2. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関連する事項については、【添付資料】4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1)経営成績に関する説明 .....	2
(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1)四半期連結貸借対照表 .....	5
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(セグメント情報等) .....	12
3. 補足情報 2023年3月期第2四半期 決算の概要 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立が進む中、インフレ抑制に向けた各国政府の金融引き締め政策による景気下振れリスク、ロシアのウクライナ侵攻に起因するエネルギー需給の逼迫、地政学リスクの高まり、わが国における円安進行等により、不透明な状況が継続しました。

このような経営環境のもと、当社グループの売上は、中国ロックダウンや部品・部材不足による生産遅延などにより大きな影響を受けました。また、営業利益も、コロナ禍で抑制していた人材投資・開発投資を推進したことと、中国ロックダウンによる売上減少や部品・部材の価格高騰の影響を受け厳しく推移しました。一方で、為替による押し上げ効果を大きく受け増収増益となり、過去最高を更新しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,218億9千3百万円(前年同期比9.8%増)、営業利益は、289億1千2百万円(同0.3%増)、経常利益は331億4千万円(同12.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は245億円(同19.6%増)となりました。

なお、医用機器製品の販売・保守業務などを手掛ける当社子会社の島津メディカルシステムズ株式会社において、熊本県内の医療機関におけるX線装置の保守点検に際し、5件の不適切行為が行われていたことが判明いたしました。当社は、本件の発生を重く受け止め、2022年9月1日付で、外部の専門家から構成される外部調査委員会を設置し、客観的かつ徹底的な調査及び再発防止策の提言を委託しております。当社は、調査委員会による調査の結果、明らかになった事実を速やかに公表するとともに、信頼の回復に向けて抜本的な再発防止に全力で取り組んでまいります。

各セグメントの状況はつぎのとおりです。

## I. 計測機器事業

計測機器事業は、グローバルで創薬開発や医薬品の自国生産が進み、医薬を中心とするヘルスケア分野向けに、主力の液体クロマトグラフの需要が増加しましたが、中国ロックダウン、部品・部材不足の影響を受けました。一方、国内で新型コロナウイルス感染者数の増加に伴い、新型コロナウイルス検出試薬キットが増加しました。

この結果、当事業の売上高は1,414億7千7百万円(前年同期比8.3%増)となり、営業利益は部品・部材価格の高騰等により、238億4千8百万円(同2.0%減)となりました。

なお、売上高についての主要地域別の状況は下記のとおりです。

	2022年3月期 第2四半期 (百万円)	2023年3月期 第2四半期 (百万円)	増減率 (%)	概況
日本	49,487	50,082	1.2	新型コロナウイルス感染者数増加に伴い、新型コロナウイルス検出試薬キットが増加。加えて、カーボンニュートラルを目標としたグリーンイノベーション分野向けにガスクロマトグラフや試験機が増加。
北米	15,043	15,864	5.5	一部大手顧客向け需要や新型コロナウイルス検出試薬キットが減少したものの、医薬向けに液体クロマトグラフや質量分析システムが増加。また、水質分析向けに環境計測機器が増加。
欧州	13,792	14,541	5.4	ロシア向けが減少したものの、臨床向けに液体クロマトグラフや質量分析システムが増加。
中国	32,754	36,049	10.1	ロックダウンの影響が残るものの、医薬や受託分析を中心とするヘルスケア分野向けに、液体クロマトグラフが増加。
その他のアジア	14,243	18,556	30.3	東南アジアやインドで医薬向け需要が拡大したことにより、液体クロマトグラフやガスクロマトグラフが増加。

## II. 医用機器事業

医用機器事業は医療機関による設備投資の回復に伴い、X線TVシステム、血管撮影システム、放射線治療装置用動体追跡システムが増加しました。

この結果、当事業の売上高は376億3千7百万円(前年同期比17.4%増)となり、営業利益は売上の増加等により、28億7千万円(同6.7%増)となりました。

なお、売上高についての主要地域別の状況は下記のとおりです。

	2022年3月期 第2四半期 (百万円)	2023年3月期 第2四半期 (百万円)	増減率 (%)	概況
日本	18,195	20,464	12.5	医療機関の設備投資回復によりX線TVシステム、血管撮影システム、放射線治療装置用動体追跡システムが増加。
北米	3,968	5,067	27.7	米国市場向けに投入した近接操作型X線TVシステムが増加。
欧州	1,482	1,968	32.8	東欧向けに一般撮影システムが増加。
中国	2,366	2,322	△1.9	局地的なロックダウンの影響を受け、X線TVシステム等が減少。
その他のアジア	3,179	3,612	13.6	東南アジアにおいてX線TVシステム、インドで血管撮影システムが増加。

## III. 産業機器事業

産業機器事業は、ターボ分子ポンプが半導体製造装置向け、建材ガラス、薄膜太陽電池等の薄膜製造装置向けに増加しました。また、プラスチック強化材向けガラス繊維の需要拡大に伴いガラスワインダが増加しました。油圧機器は、産業車両・建設機械・農業機械分野の需要が堅調に推移したものの、一部顧客による生産調整の影響により微減となりました。

この結果、当事業の売上高は303億5千9百万円(前年同期比13.5%増)となり、営業利益は部品・部材価格の高騰等により、25億9千4百万円(同4.3%減)となりました。

なお、売上高についての主要地域別の状況は下記のとおりです。

	2022年3月期 第2四半期 (百万円)	2023年3月期 第2四半期 (百万円)	増減率 (%)	概況
日本	13,225	12,977	△1.9	半導体製造装置向けターボ分子ポンプは増加。前年大口案件の反動により工業炉が減少したことに加え、一部顧客の生産調整により油圧機器が減少。
北米	3,666	4,282	16.8	半導体製造装置向けターボ分子ポンプや、産業車両・建設機械・農業機械向けに、油圧機器が増加。
欧州	1,464	2,017	37.8	半導体製造装置向けターボ分子ポンプが大幅に増加したことに加え、産業車両・建設機械・農業機械向けに、油圧機器が増加。
中国	5,799	8,300	43.1	ガラス繊維向けの需要拡大に伴い、ガラスワインダが増加。加えて、半導体製造装置や建材ガラス・薄膜太陽電池のコーティング向けにターボ分子ポンプが増加。
その他のアジア	2,543	2,724	7.1	前年のガラスワインダ大口案件の反動減があるものの、半導体製造装置向けにターボ分子ポンプが増加。

## IV. 航空機器事業

航空機器事業は、防衛分野が減少しましたが、民間航空機分野は社会経済活動の再開に伴い、航空旅客需要が増加し、回復基調となりました。

この結果、当事業の売上高は104億9千8百万円(前年同期比2.9%増)となりました。営業利益は売上の増加や収益改善により、3億2千1百万円(前年同期は3億3千2百万円の営業損失)となり、2期振りに黒字に転じました。

なお、売上高についての主要地域別の状況は下記のとおりです。

	2022年3月期 第2四半期 (百万円)	2023年3月期 第2四半期 (百万円)	増減率 (%)	概況
日本	8,362	7,525	△10.0	防衛分野向け修理案件が減少。
北米	1,731	2,585	49.3	航空旅客需要の増加に伴い、民間航空機向け搭載機器や、補用品等のアフターマーケット事業が回復基調。

## V. その他の事業

当事業の売上高は19億1千9百万円(前年同期比21.5%減)となり、営業利益は2億8千4百万円(同16.1%減)となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、ウクライナ戦争の長期化、半導体をはじめとしたサプライチェーンの混乱、世界的なインフレ、為替レートの急激な変動等、経済に影響する様々な課題が継続し、今後も先行き不透明な状態が続くと予想されます。このような事業環境の中、引き続き成長分野へ注力し業績拡大に努めてまいります。

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗と、想定為替レートを見直したことや部品・部材の価格高騰による影響等を勘案し、2022年5月10日に公表しました予想を見直しています。

(単位:百万円)

	2023年3月期 連結業績予想	対前期 増減率	(参考) 前回公表時
売上高	470,000	9.8%	455,000
営業利益	68,000	6.6%	68,000
経常利益	68,000	3.7%	68,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	49,000	3.6%	49,000

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	157,966	160,722
受取手形、売掛金及び契約資産	121,931	116,359
商品及び製品	61,386	72,291
仕掛品	20,777	25,128
原材料及び貯蔵品	24,484	29,779
その他	9,984	12,098
貸倒引当金	△2,167	△2,284
流動資産合計	394,363	414,095
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	52,902	54,641
機械装置及び運搬具(純額)	7,261	7,829
土地	19,053	22,177
リース資産(純額)	1,910	2,153
建設仮勘定	992	3,041
その他(純額)	22,310	23,394
有形固定資産合計	104,430	113,238
<b>無形固定資産</b>		
のれん	2,283	5,987
その他	8,868	9,513
無形固定資産合計	11,151	15,500
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	13,496	13,425
長期貸付金	156	183
退職給付に係る資産	20,665	20,994
繰延税金資産	12,606	14,287
その他	4,003	4,853
貸倒引当金	△345	△344
投資その他の資産合計	50,583	53,399
固定資産合計	166,164	182,138
資産合計	560,528	596,234

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	66,538	62,661
短期借入金	1,504	1,504
リース債務	3,458	3,442
未払金	13,760	13,730
未払法人税等	10,944	9,229
契約負債	40,347	50,321
賞与引当金	11,657	11,774
役員賞与引当金	355	244
受注損失引当金	10	1
株式給付引当金	38	38
その他	10,126	10,824
流動負債合計	158,743	163,771
<b>固定負債</b>		
長期借入金	205	168
リース債務	6,422	7,245
役員退職慰労引当金	144	144
退職給付に係る負債	12,994	13,612
株式給付引当金	92	66
その他	759	1,159
固定負債合計	20,620	22,396
<b>負債合計</b>	<b>179,363</b>	<b>186,167</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	26,648	26,648
資本剰余金	34,910	34,910
利益剰余金	298,758	315,004
自己株式	△1,244	△1,208
株主資本合計	359,073	375,354
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	6,471	5,592
為替換算調整勘定	10,093	21,026
退職給付に係る調整累計額	5,525	5,510
その他の包括利益累計額合計	22,090	32,129
非支配株主持分	-	2,581
<b>純資産合計</b>	<b>381,164</b>	<b>410,066</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>560,528</b>	<b>596,234</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	202,067	221,893
売上原価	117,859	129,649
売上総利益	84,208	92,243
販売費及び一般管理費	55,371	63,331
営業利益	28,836	28,912
営業外収益		
受取利息	132	158
受取配当金	151	160
受取保険金	58	98
為替差益	-	3,747
助成金収入	373	218
その他	282	380
営業外収益合計	998	4,765
営業外費用		
支払利息	85	133
為替差損	61	-
その他	321	404
営業外費用合計	468	537
経常利益	29,366	33,140
特別利益		
受取保険金	-	891
投資有価証券売却益	-	19
固定資産売却益	74	17
特別利益合計	74	928
特別損失		
事業整理損	-	607
固定資産処分損	67	86
投資有価証券評価損	13	2
火災損失	758	-
特別損失合計	839	696
税金等調整前四半期純利益	28,601	33,372
法人税、住民税及び事業税	8,637	9,972
法人税等調整額	△521	△1,100
法人税等合計	8,115	8,872
四半期純利益	20,485	24,500
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,485	24,500

四半期連結包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	20,485	24,500
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,048	△879
為替換算調整勘定	860	10,933
退職給付に係る調整額	24	△15
その他の包括利益合計	1,933	10,039
四半期包括利益	22,419	34,539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,419	34,539
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	28,601	33,372
減価償却費	8,031	8,500
事業整理損	-	607
受取保険金	-	△891
火災損失	758	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△225	△182
賞与引当金の増減額(△は減少)	△390	△424
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△93	△126
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△382	△354
受取利息及び受取配当金	△284	△319
支払利息	85	133
為替差損益(△は益)	△75	△2,539
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	13	△16
有形固定資産除売却損益(△は益)	△6	68
売上債権の増減額(△は増加)	14,226	16,602
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,457	△10,413
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,563	△10,483
契約負債の増減額(△は減少)	△95	3,829
その他	△545	△3,268
<b>小計</b>	<b>40,596</b>	<b>34,095</b>
利息及び配当金の受取額	285	319
利息の支払額	△84	△133
保険金の受取額	-	346
法人税等の支払額	△9,265	△11,922
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>31,531</b>	<b>22,705</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△4,603	△8,503
固定資産の売却による収入	300	147
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	-	41
貸付けによる支出	△27	△26
貸付金の回収による収入	19	22
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△10,439
その他	3,355	△993
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△955</b>	<b>△19,752</b>

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	-	△0
長期借入金の返済による支出	△12	△38
配当金の支払額	△5,596	△8,477
リース債務の返済による支出	△2,071	△2,274
自己株式の増減額(△は増加)	15	35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,664	△10,755
現金及び現金同等物に係る換算差額	691	9,369
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	23,602	1,567
現金及び現金同等物の期首残高	106,855	155,319
現金及び現金同等物の四半期末残高	130,458	156,886

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した日水製薬株式会社他1社を連結の範囲に含めています。また、日水製薬株式会社の子会社化に伴い、その関連会社2社を持分法適用の範囲に含めています。なお、日水製薬株式会社は当社の特定子会社に該当しています。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしました。なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## (セグメント情報等)

## 1)セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測機器	医用機器	産業機器	航空機器	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	130,603	32,058	26,754	10,206	199,623	2,444	202,067	-	202,067
セグメント間の 内部売上高	5	24	33	3	66	939	1,006	△1,006	-
計	130,608	32,082	26,788	10,210	199,690	3,384	203,074	△1,006	202,067
セグメント利益 又は損失(△)	24,339	2,691	2,711	△332	29,410	338	29,749	△912	28,836

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測機器	医用機器	産業機器	航空機器	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	141,477	37,637	30,359	10,498	219,973	1,919	221,893	-	221,893
セグメント間の 内部売上高	24	29	32	18	104	1,108	1,212	△1,212	-
計	141,502	37,666	30,391	10,517	220,077	3,028	223,105	△1,212	221,893
セグメント利益	23,848	2,870	2,594	321	29,634	284	29,918	△1,006	28,912

## 2)関連情報

地域ごとの売上高の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

日本	米州	欧州	中国	その他のアジア	その他	合計
91,714	27,087	16,819	40,927	19,988	5,531	202,067

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

日本	米州	欧州	中国	その他のアジア	その他	合計
92,965	31,377	18,862	46,680	24,938	7,068	221,893

(注) 本邦以外の区分に属する主な国または地域

米州 :アメリカ  
 欧州 :イギリス、ドイツ  
 中国 :中国  
 その他のアジア :インド、東南アジア、韓国、台湾  
 その他 :オーストラリア、中近東、アフリカ

## 3. 補足情報

## 2023年3月期第2四半期 決算の概要

行 番		2022年3月期	2023年3月期	対前年同期		2022年3月期	2023年3月期	
		第2四半期	第2四半期			2022年3月期	2023年3月期	
		連結累計期間	連結累計期間	増減額	増減率	実績	予想	
		実績	実績					
1	売上高	百万円	202,067	221,893	19,825	9.8%	428,175	470,000
2	売上高(計測機器)	百万円	(130,603)	(141,477)	(10,874)	(8.3%)	(277,515)	—
3	売上高(医用機器)	百万円	(32,058)	(37,637)	(5,579)	(17.4%)	(66,894)	—
4	売上高(産業機器)	百万円	(26,754)	(30,359)	(3,604)	(13.5%)	(56,736)	—
5	売上高(航空機器)	百万円	(10,206)	(10,498)	(292)	(2.9%)	(22,301)	—
6	売上高(その他)	百万円	(2,444)	(1,919)	(△524)	(△21.5%)	(4,727)	—
7	地域別売上高【日本】	百万円	91,714	92,965	1,251	1.4%	201,164	—
8	地域別売上高【海外】	百万円	110,353	128,927	18,574	16.8%	227,010	—
9	海外売上高(米州)	百万円	(27,087)	(31,377)	(4,289)	(15.8%)	(55,378)	—
10	海外売上高(欧州)	百万円	(16,819)	(18,862)	(2,043)	(12.1%)	(35,297)	—
11	海外売上高(中国)	百万円	(40,927)	(46,680)	(5,752)	(14.1%)	(81,469)	—
12	海外売上高(その他のアジア)	百万円	(19,988)	(24,938)	(4,950)	(24.8%)	(43,109)	—
13	海外売上高(その他)	百万円	(5,531)	(7,068)	(1,537)	(27.8%)	(11,754)	—
14	営業利益	百万円	28,836	28,912	75	0.3%	63,806	68,000
15	経常利益	百万円	29,366	33,140	3,773	12.9%	65,577	68,000
16	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	20,485	24,500	4,014	19.6%	47,289	49,000
17	1株当たり四半期(当期)純利益	円	69.53	83.15	—	—	160.49	166.29
18	1株当たり配当金	円	20.00	22.00	—	—	48.00	50.00
19	設備投資	百万円	6,303	12,080	5,777	91.7%	16,357	24,000
20	減価償却費	百万円	8,031	8,500	468	5.8%	16,205	17,000
21	総資産	百万円	505,073	596,234	91,160	18.0%	560,528	—
22	純資産	百万円	352,338	410,066	57,727	16.4%	381,164	—
23	自己資本比率	%	69.8	68.3	—	—	68.0	—
24	連結従業員数	人	13,523	13,869	346	—	13,499	—
25	連結子会社数	社	76	78	—	—	76	—
26	(日本)	(社)	(23)	(23)	—	—	(23)	—
27	(海外)	(社)	(53)	(55)	—	—	(53)	—